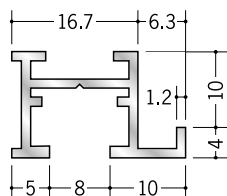


アルミ ピクチャーレール ブラケットタイプ

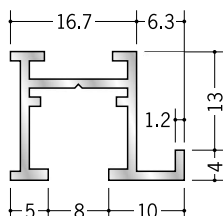
57045 PR-409
3m/アルマイトシルバー
ホワイトアルマイト3
電解ブラック

57145 PR-409
フック投入口あき (右側)
3m/アルマイトシルバー
ホワイトアルマイト3
電解ブラック



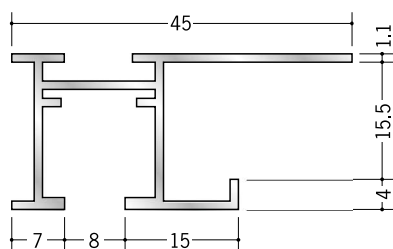
57046 PR-412
3m/アルマイトシルバー
ホワイトアルマイト3
電解ブラック

57146 PR-412
フック投入口あき (右側)
3m/アルマイトシルバー
ホワイトアルマイト3
電解ブラック



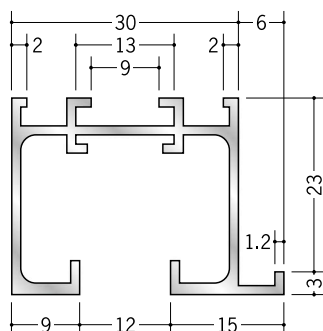
59102 PR-615S
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3
電解ブラック

59112 PR-615S フック投入口あき (右側)
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3
電解ブラック



57210 PR-33F
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3
電解ブラック

57211 PR-33F フック投入口あき (右側)
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3
電解ブラック



写真の色調は、印刷の為
実物とは多少異なる場合があります。

ブラケット取付は、
300mm～450mmピッチ
で行って下さい。



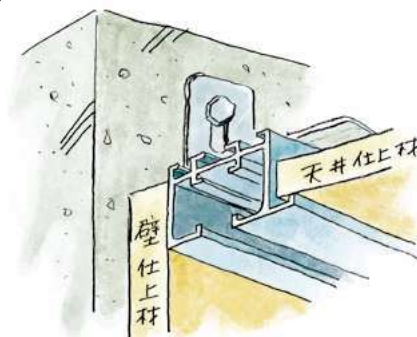
PR-33F フック投入口あきは、
端から200mmに20mm×27.6mmの
四角い穴が1つあいています。

PR-33Fのフックは、
PR-33F専用の
天井用ランナーフックを
使用して下さい。



57221

天井用ランナーフック (PR-22F, 33F用)
フック部分ステンレス



ブラケット調整範囲

品 名	調整範囲
PR-409	0～56mm
PR-412	0～56mm
PR-615S	0～54mm
PR-33F	0～52mm

サイドカバー

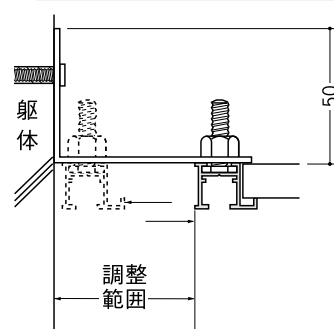


57092 PR-409用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック/左用・右用

57122 PR-615S用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック/左用・右用

57093 PR-412用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック/左用・右用

57139 PR-33F用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック/左用・右用



ピクチャーレールの安全荷重は、P124と技術資料 (P740) に掲載しています。

ピクチャーレール安全荷重

レール単体での安全荷重

品 名	天井面付け		壁面付け	
	300 mmピッチ	450 mmピッチ	300 mmピッチ	450 mmピッチ
PR-8F	8 kg	2 kg	15 kg	7 kg
PR-10F	15 kg	8 kg	30 kg	25 kg
PR-77F	15 kg	8 kg	20 kg	10 kg
PR-22F	40 kg	25 kg	—	—
PR-3017R	15 kg	10 kg	25 kg	20 kg
PR-4217R	15 kg	10 kg	30 kg	25 kg
PR-109	8 kg	5 kg	15 kg	8 kg
PR-112	15 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-209	15 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-212	20 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-9M	15 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-12M	20 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-515S	25 kg	10 kg	—	—
PR-309	15 kg	8 kg	20 kg	15 kg
PR-312	25 kg	15 kg	20 kg	15 kg
PR-709S	25 kg	15 kg	20 kg	15 kg
PR-712S	25 kg	15 kg	20 kg	15 kg
PR-715S	25 kg	15 kg	20 kg	15 kg
PR-910F	—	—	15 kg	10 kg
PR-912F	—	—	25 kg	15 kg
APL-101	—	—	30 kg	20 kg

レール単体の安全荷重は瞬間的にかかる荷重を考慮して破壊荷重の約1/3で設定しています。



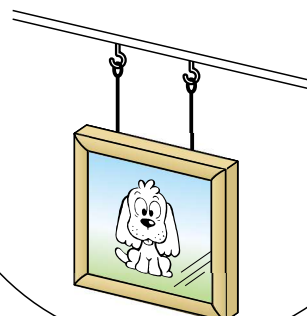
品 名	ブラケットタイプ	
	300 mmピッチ	450 mmピッチ
PR-409	20 kg	8 kg
PR-412	25 kg	15 kg
PR-615S	25 kg	15 kg
PR-33F	40 kg	25 kg
PR-60F	25 kg	15 kg
PR-40F	50 kg	40 kg
PR-50F	50 kg	50 kg

吊る対象物に見合ったピクチャーレールと部材の選定をおすすめします。



ピクチャーレールの強度は十分でも、部材の強度が不足していると、落下する危険が生じます。ビスの固定ピッチも大きな要因になります。

額縁などを吊る場合、1本のフック（ワイヤー）は、不安定になるので、2本のフック（ワイヤー）を使用することをおすすめします。



例えば、
10 kgの額縁を吊る場合

PR-109と天井スライドフックBを使用して天井面に取付けると、フックは変形しないもののレールが変形する可能性があります。

PR-209と天井スライドフックのBの組合わせで300 mmピッチで固定すると安全です。